明治四十一年二月二十五日第三種郵便物認可 （月曜日及祭日の翌日休刊） 明治四十三年六月一日（水曜日） 第四百八十日 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書 有志に諭る

不猛生投

腐敗墮落の惡風潮は滔々として今や青年の元氣を浸蝕し、安逸を偷み、易きに赴くは刻下青年の均しく希ふ所にして、勇壯銳氣橫溢の氣風を認むる事が出來ない、青年は國家の元氣時代の華なり、青年を見て其國の將來を卜するに足るといふ西哲の言、千鈞重し、殊に生は此地へ渡來してより未だ僅かに數月に足らずと雖、最も此感を深ふするものあり、何ぞや。

韓土は我大和民族が嶋帝國を去つて大陸に其勢力を扶殖せんとする其攻侵力を印せし第一歩の地なり、吾人が形體上に於ては兎も角、實質上の大和帝國を將に此大陸の一角に樹立せんとして常に奮鬪してゐる地である、橫溢の氣力や島國の範圍內に永く數百年間無理に壓迫閉塞せられてたつたのが今や其一端を破られて第一吹が此地に放迸せられたるに外ならぬ、故に此地の青年の元氣は即ち島帝國の青年の元氣の最も精銳なるものたるべし其意氣は蓋し當るべからざるものがあらうと想像して來た。

然るに事實は如何である……時は恰も零下十數度の寒氣激烈の嚴冬に際し韓國朝野の人士は悉く眠れり矣、蟄居無爲惰眠を貪るの外なく外らに春風駘蕩の季の到るを待つのみ、而して今や春は去り、花は散り新綠、色濃かなる時にありても依然として其清新の活氣何處にあるやを疑はしむ、蓋し嚴冬に其銳氣を殺かれたるものか、天然は如此して青年の雄心を喪失せしむるにあらずや、噫生が期待は計らずも空中に樓閣を夢みるに異ならざりき。

此天職を有し此宏圖を擔ふ青年が此地に來りて此憐むべき狀態にあり彼等青年の期する所は夫れ果して何か、過去の投機的幸運を夢想し徒手空拳を以て千萬の富を一朝に獲んとす、嗚呼過れるの甚しき哉。

過去戰後の韓國は然り、左れど將來の韓土は決して之を望むことが出來ないと斷言して憚らない、今や景氣は順潮に回復するの傾向を呈し財界事業界は其序を以て發達すべし、着實なる方針により堅忍の氣力を以て奮鬪を繼續するものが最終の勝利を得べき資格を有するは何れの世、何れの時代を限らないけれども韓國刻下の趨勢は過渡の時代であるから徒らに過去濡手に粟を握りし僥倖の機會を的とするものが多いのは免れない現象であるから殊に此覺悟が緊要であるとは今更喋々の辯を要しない。

靜躁昏明

一記者

◆號外 多年日本に流寓して遖れの日本通と成り濟し、歸韓の今も溫突の裡に胡坐かけの大胡坐、一寸鄉香も忘れがてなるを呑れ許すからに人も怪まず、やがて見よ蛟龍が地中に潛める間の日課は、日本字の新聞二三種を讀むで而して張三、李四の輩に宇內の形勢を說き聞かせ、其が頭腦に文明の空氣を盛つてやらうの勞力、去程に去三十日、兼て蛟龍が頼み切つたる一韓人、慌し氣に驅け込み來て、之れ御覽ぜよと差出すを見れば、統監更任の新聞號外、蛟龍曰く、フム寺內が統監か、噂の通りじや、夫れも可からう、何に……山縣が副統監、之れも噂は有つたが……と礑と小膝を打つた、そしてアイゴーと唸る、傍からモシヨーさ聞ふ、又もやアイゴーと唸る、モシヨー、アイゴーの應酬三四回して、蛟龍蛇と座を搆へ、山縣とは日本陸軍の元帥、文の伊藤に、武の山縣と囃され、伊藤亡き、今は日本元勳の頭領、サテ此の人が副統監となるなれば、日本ノ眞意は云はずと知れた況して統監には故と乾兒の寺內を据わたさよ、所存の程ぞ恐ろしと、胸を叩いてアイゴーと叫べば、打集へる韓人原吾れ劣らじとアイゴー、は號外も飛んだ罪を作つたもの、

三浪津の養蠶

慶南地方に於る主要農業地の一たる三浪津には養蠶傳習所の設けありて其筋の補助をも受け小規模ながらも現に韓人に對して蠶業上の技能と智識とを授けつゝあり其成績佳良なるが同地には該傳習所の外尙は本年韓國興業會社蠶業部を引受け同地島田開吉氏（元興業會社員）の經營しつゝある養蠶所あり同氏數年來の經驗に依り韓國式蠶室と稱すべき掘立小屋の蠶室をも用ひ目下蠶兒は三眠起に在りて何れも成育頗る良好なるが其の飼數は約五百枚に達すべく恐らくは韓國現時の養蠶家中の最大規模なりと謂ふも不可なかるべしとの事にて收繭の上は多數の種紙を製造し普及の爲め原價同樣にて廣く販賣すべく既に豫約を申込み來る者も尠からずと云ふ因に同養蠶所には金海、密陽、梁山、東萊等諸郡より蠶業傳習を受くる爲め來り居る韓人も數名あり是等の傳習生は日夜精勤最も熱心に飼育に從事しつゝあり本年卒業の上は各自家に歸りて夫々準備を整へ明年は何れも自家にて養蠶を爲す可く大に意氣込居り

日露貨客聯絡線

（山之內管理部長談）

日露兩國間に旅客及び貨物の聯絡輸送をなすは獨り兩國間の利益に止まらず實に歐亞兩洲間の交通、貿易上に多大の利益あるべきは固より論を俟たず左れば日露兩國は昨年旅客の聯絡に關する一切の交涉を了し現に東淸南滿鐵道及鐵道院線との間には聯絡切符を發賣しつゝありて西伯利線並に露本國鐵道との聯絡も來る七月一日より開始さるゝ筈なりしも其後露國政府に於て鐵道乘車賃金を改正したる結果聯絡延期を通知し來れるが多分九月頃より開始の運びに至るべし又滿鐵の田中理事は目下露都に在りて東淸鐵道會社との間に貨物の聯絡に關しは頗る良好の模樣なる上萬國鐵道會議に參列すべき平井副總裁及大屋參事も途次露都に立寄る豫定なれば或は右の聯絡會議に參與するに至らんか斯の如く滿鐵代表者及び鐵道院に於ても熱心交涉に從事しつゝあれば遠からずして圓滿なる結果を見るに至るべく該聯絡にして愈實行と決定せば明年三四月頃より開始さるゝに至らんか云々



第百廿六席 邑井一講演

津田近江之守（三十）

彌「イヤ〱然うでない、このまゝ立去つたら大きに彼等も殘念に思ふことであらう」書附を一本遺しまして、御自身使ひ殘りの金子を少々財布より出して其の所に置き「赤穗の藩岡島八十右衛門、先達て此の所に於て五人の賊を斷り捨て、其場にありし酒を飲みしが今日は酒代と致して是れなる金子を遣はし置く」といふことを認め、その森の片傍に置いて歸りました、その後この山中へ賊が出ましても、赤穗の人といへば懲り〱いたして、餘り赤穗の者には相手にならないやうに相成りましたといふ、誰れいふとなく岡島は山賊を五人まで斬つたさうだ、なか〱天晴なる腕前であるといふことが、家中一般の評判と相成りました、さては岡島は沈勇といふのであるか、何うも豪い仁であるといふ噂を仕合ひました



又岡島も此の又助を前にも申す通り至つて可愛がるといふのは、畢竟する直助の其の身に報いしところを見まして家來といふ者は大切に仕なければならぬものだと思召したのでございます、若し彼れが風邪でも引きますると、彌惣右衛門は御自身に藥を購めて參りまして之を煎じて遣り 彌「何うか早く本服して呉れ、汝が寢て呉れては乃公が困るからといふので、マア主人の仁慈といふものは、召使はるゝ當人もなか〱忘れは致しません、よつて此の直助の後へ參つて又助といふ者は、實に主人を大切に致し少しも奉公を怠ることはございません、然るに岡島彌惣右衛門は國許を浪人の後江戸表へ出掛けましたが、付いては此の又助といへる下郎に暇を出さうと斷りましたが、何ういふものか、主人の側を離れません又「何處々々までも私は貴方の家來でございます、私一人食ふだけのことは私が何のやうにも致しますから、是非お伴れなされて下されませ」といふので、大きに是れが爲に岡島も困りましたやうなことでございまして、遂に吉良家へ討入りの節、據なく彼れに本心を明しになり 彌「斯ういふ次第で吉良の屋敷へ討入ることであるから何うぞ汝だけは跡に殘つて身を全うして呉れるやう」と段々云つて聞かせましたが「是非共供を願ひたい」とありますす強てとのことでありますから 彌「何うも義黨の方々に對しても汝を伴れて行くことは出來ない、大石氏ですら唯一人、それに乃公が汝を同道することが出來やうか、強つて其方が然う申すなら、乃公は討入りを諦めるより致方がない」と威しつ賺しつ致して彼れを漸うのことに納得させました、そこで漸うのことに別を告げましたが主人仇討の後は此の又助といへる者は、何思ひけん頭髮を剃落ち其の身は出家遁世いたし、主人岡島彌惣右衛門の菩提を弔らひましたといふ主從の緣深く斯く其の身の死後の弔ひまでもして呉れるといふのは、是れ必竟する岡島の仁慈の德の致すところでございませう、是れは事の序でございますから一寸申上げて置きます、されば、お家騷動の砌り彌惣右衛門に於きましては、吾が役目を大切に致し働いて居ります、其混雜の最中へ參りまして、彼れ大野が岡島彌惣右衛門を盜人呼ばわりをしましたるところから、不圖先年のことを思ひ出しましたのでございます、先年は自分が必覺する何事も云はずいたして其の耻辱を助直が雪いで呉れましたのでございます、然るに其れに懲りもせず又々この度此の身を捉へて盜人呼ばわりを仕ましたのでございますから、最早お家斷絶といふことになつて見れば、御家老も何もあつたものではない同じ一人と一人でございますから最う斯うなつて見れば流石の岡嶋も堪忍袋の緒が切れましたものと見え、偖こそ前回申し上げましたるごとく、大野の屋敷へ乘込み亂暴いたしたのでございます、この大野といへる者は、岡島に斬り込まれては到底叶はぬと思ひましたか姿を隱して了ひました。

東京電報

副統監の來任期　副統監山縣伊三郎氏は來る六月十五日赴任の途に就く事に決定せり(卅日)

商法改正の要點　法律取調委員會にて審議中なる商法改正案は來期議會に提出せらるべく[illegible]追加したり改正の要點は民事會社と商事會社との併合、社債取締の件、會社の組織變更、合併の件、保險手形の件等を初め時勢の進運に伴ふ不備の點を改正するにありと(同上)

幼年校卒業式　本日中央幼年學校卒業式を擧行せらる　天皇陛下には親しく臨幸あらせられ優等生の講演を聞召され銀時計を御下賜あらせられたり卒業生は二百六十四名なり(三十一日)

吉林間島鐵道　清國政府は吉林間島間の鐵道を整理し[illegible]近く協定する事となるべし(同上)

日露鐵道の連絡　日露鐵道連絡會議は東清鐵道、南滿洲鐵道並に露國鐵道院線の間の連絡[illegible]六月一日より開始の通知ありしが[illegible]延期の通知あり多分九月一日より實施の事となるべし(同上)

帝國海軍と重油　歐米海軍にては重油を使用する傾向多く特に英國海軍は自ら石油井を採掘して常に重油を貯藏する由にて我國にても之を試用する爲め横須賀に貯藏槽を設ける計畫にて本年度佐世保にも油槽を設くる計畫あり海軍に於ける重油の使用は益す増加すべし

新統監の渡韓期　寺内新統監は六月中に渡韓すべし但し[illegible]新統監は十五日頃赴任するやも知れず(同上)

對韓政策の展開　對韓政策の展開を見るは各主腦部の更迭斷行後にして遅くも九月頃なるべく七月中には多少の展開を現出すべし(同上)

主腦部の大更迭　寺内新統監は現狀に於て[illegible]行政の一大活動を[illegible]方針を以て任に臨み先づ其の第一着手として總務長官を筆頭に統監府高級官吏及び韓國政府部次官に大更迭を行ふに決し其の人選既に内定せり發表は渡韓前に行[illegible]るべし(同上)

日露協約の成立　露都にて協商中の日露新協約は相互の意見一致し調印するばかりとなり近々發表さるべく傳ふ其の内容は韓國に關する[illegible]發表さるゝ項のみなるが如し

公債償還と振興會　金融[illegible]と政府當局者に依り[illegible]振興會は公債の償還[illegible]形勢に鑑せんとし[illegible]翻すべき時期に接し[illegible]開會する事に決し[illegible]三日永代橋々詰日[illegible]相小村外相後藤遞相[illegible]出席する筈(同上)

伊勢太廟へ御參拜　過日御成[illegible]朝香宮鳩彦王殿下[illegible]六月四日新橋發名[illegible]廟に御參拜あらせらるると承はる(同)

整理公債の償還濟　政府は大[illegible]規定に據り今卅一日[illegible]償還を了す(同上)

談話會講演會開催　談話會々[illegible]て談話會講演會な[illegible]趣意書を發表したり

競馬會社設立經過　東京府下[illegible]を合同し競馬獎勵[illegible]回を開催すべし[illegible]一大競[illegible]五百萬圓の[illegible]中に協議決定の筈[illegible]は中途多少の行[illegible]は馬場を開設して[illegible]す筈にて其建築は[illegible]事となりたり(同)

萬國衛生會議延期　本年九月[illegible]萬國衛生會議は無期延期[illegible]四十五年五月廿三[illegible](同上)

勲章贈進と韓儲　竹田、北白川、朝[illegible]章贈呈したるに三[illegible]より韓皇に宛て左[illegible]

三殿下の御答電　[illegible]竹田、北白川、朝香の三妃殿下へ御[illegible]午前十一時半竹田[illegible]而して午餐の饗を[illegible]贈呈ありたるに對し[illegible]同一文にて左の御答電[illegible]下をして妃(御名)[illegible]れ感謝の至りに堪[illegible]を申上ぐ(御名)

韓皇と新舊統監　三十一日午前韓皇は前統監曾禰子に左の親電を發せられたり

貴子爵今遠かに統監の任を辭せしを聞く貴子爵嚮に副統監の任を以て來駐し次ひて統監を以て伊藤公爵經始の後を襲ひ朕が國政を指導す其の紀綱漸く張り百事漸く成る所以のもの惟ふに貴子爵の勤勞によらずんばあらず今春貴子爵病を抱きて歸朝するや朕は切に速かに快癒復任せんことを祈れり圖らざりき病軀終に閑外に留まる能はざらんとは朕は茲に哀惜に堪へん朕は茲に貴子爵在職補導の至誼を感謝し併せて貴子爵の速かに健康に復せんことを禱る

右と同時に新任統監寺内子爵に宛て左の親電ありたり

貴子爵新たに統監の任を兼ねられたるを聞く朕欣喜に堪へん今や國百度漸く緒に就くと雖も尚ほ且貴子爵の補導に俟つや多し茲に貴子爵の新任に當り朕が衷心の祝意を表し併せて健康を禱る

寺内統監の訓電

三十日新任寺内統監より石塚長官代理に宛て左の電報ありたり

今三十日本官が統監兼任を命ぜられ山縣伊三郎副統監に任ぜられたるに付き其の趣を韓皇陛下に上聞し併せて統監府及所屬職員以下に傳達し尚日韓職員に對しては從來の通り各々其の任務に鞅掌すべき様本官に代り訓示せらるべし

右に對し石塚長官代理より寺内山縣の正副統監に左の祝電を送れり

閣下、統監(副統監)御就任の報に接し小官は茲に本府並に所屬官署韓國政府在職員一同に代り謹んで御挨拶申上ぐ

而して石塚長官は右の電訓及祝電の趣を各理事廳、營林廠等の如き遠隔の所屬官廳に向け即日電報を發したり尚韓國側各官廳へは總理大臣より夫れ夫れ發電したり

趙農相邸の密議

高度支部、趙農商工部、李學部、閔宮内府の各大臣は去る三十日午後七時統監邸の歸途永樂町の趙農相邸に參集し午後九時頃まで密議する處ありたり其の内容は秘密にして知るを得ざるも統監更迭に關し今後内閣の立場等に就き小田原評議を爲たる者なるべし(電通)

交迭と漢城政界

統監更迭は漢城政界に尠からぬ刺戟を與へ殊に寺内大將の兼攝は一層其神經を惱まし所謂政黨政客は唖然として唯だ其雲行を觀望するのみ元來韓國の政黨なるものは利に集まり利に散ずる蟻の團結にして之を目して國民的政黨杯と稱するは猫を見て虎と呼ぶの類なり故に其行動の如きも猫の眼の如く晝夜其色を異にし暗夜徒らに兇眼を光らすも白晝は唯だ主人の膝下に阿もねり其寵優しく食を求むるの外なし即ち統監更迭に對し陰に謀策を凝らしつゝある如きも表面は甚だ穩かに經過し居り

●**清韓人共謀の密漁**　平安道沿海に於ては近來清國密漁船の取締嚴重なる爲め彼等の密漁方法も漸次巧みとなり先月來鎮南浦稅關所屬の巡邏船が多獅島及び加次島に於て發見したる清國密漁船は何れも韓人文憑極なる者の文符を所持して同人の傭船たることを裝ひ居るに取調べの結果漁業權者文憑極は其權利を濫用して清國密漁船一隻より五圓の料金を徴收せること判明したるを以て密漁船には退去を命じ文憑極は嚴重に訓戒せられたり

●**鴨綠江架橋と關稅**　鴨綠江の架橋工事は本年解氷の當時より既に全部の工事に着手し目下進行中なるが此材料に付き之を清國領に移入する時は清國稅關に輸入稅を課するに依り双方の間に於て一時紛擾を表したりと雖も韓鐵にては工事の進行上該問題を後日の懸案と爲し一應輸入稅を納入し居る由なるが此稅金は例の國境稅關に於ける國際間の條件附納稅にあらざる由にて安東縣の稅關長米人バーリン氏との交渉事件なる由

●**韓人警察官の行賞**　吾が外務省の囑托により内部より派遣せる間島駐在の韓人巡査李德俊金泰善の兩名は熱心職に從ひ職責任に就き韓人には稀に關する程なるが過日來同地に暴徒の一群渡來し潜かに吾が總領事館襲擊の陰謀を企み居れるを探知し茲に其巣窟に踏み込み其連類を逮捕し又銃器十八挺彈藥數百發を押收して禍を未前に防ぎたる其功績大なりとて永瀧總領事より論功行賞方を内部へ照會し來れりと云ふ

●**學校取締と警察權**　學校の取締りは本來警察の主管に屬せざる性質のものなれども韓國現在の學校狀況は尚ほ屢々保安警察上注意を要すべきもの鮮なしとせず是れ主として道廳内務部に於ては未だ視察監督の充分に行屆くべき機關なき爲めなれば警察は學部の方針に基き之れと連絡を取り寛嚴宜しきを期し以て取締りの實を擧ぐべしとなり

●**參與官會議の例會**　三十一日午前十一時より定例參與官會議を開き出席者は松井、俵、國分、小宮の各參與官及び菊池商工局長大屋韓鐵長官、池田通信技師なりき

●**慶北の屠牛稅値上**　慶尚北道に於ける地方費中屠牛稅は從來一頭に付五十錢なりしが斯ては隣接各道と權衡を失するを以て今般同道觀察道の案中に依り一頭一圓と改正せり

●**六十六聯隊の演習**　歩兵第六十六聯隊第十中隊にては六月二日午前一時より梨古院の東方に於て三日午後七時より練兵場附近に於て四日午前八時より同所に於て空包發火演習を行ふと

●**清國密漁取締勵行**　清國密漁船は西北沿岸より南海岸にかけて出沒するを以て各稅關所屬巡邏船は警察官乘組み總出にて取締り居ると

●**警部採用試驗執行**　内部は一日午後一時より韓人警部採用試驗を執行する筈志願者約八十名にして現に巡査在職以外の者少からざる由

●**面制度會議の續行**　内部地方局にては面制度確立に關し引續き會議中なるが三十一日も之を開き審議を凝らし居たりと云ふ

●**統監府出張所移轉**　統監交迭と同時に東京麴町區内幸町の統監府出張所は陸軍省内に移轉せり

韓鐵工事の内容

韓國鐵道が本年度に於て施行すべき工事は幾に帝國議會に於て通過せし三百五十万圓なるが此豫算に於て着手すべき工事の内容を聞くに▲主力を注ぐ處は京義線三百十哩の内土城、汗浦間約二十哩東林良策間約二十哩の改築工事にして日露戰爭の當時に於て速成したる最急勾配四十分の一を百分の一に改修する筈なるが該工事の竣成期は明年中にて豫算二百萬圓なりとす而して之れに伴ふ假橋架の改築並に土工十一箇所にて一百万圓の工事は或は小部分を除くの外全線とも今や一切に工事に着手し居りて▲停車場の設備　即ち建物及官舍等にも着手する筈なるが京義線完成の豫算全部は五百萬圓を要する七工事なるに付き全線の竣工は三箇年を要する筈なり次に▲京元湖南の兩線は本年度の豫算各二十三萬五千圓にて既に測量に着手し居れるが愈々本工事に着手する期日は來る九月にして京元線は龍山より湖南線は太田より何れも起工の筈なりと而して▲平南線は昨年度速成の計畫を以て全線に着手し目下盛んに工事中なれば本年中に全線卅四哩半の開通を見可

兩鐵道の通過地

別項記載の如く京元及湖南の兩線は何れも來る九月より本工事に着手する筈なるが該線の通過地に付き當局者の言を聞くに京元線は龍山より議政府、漣川、鐵原、平康及分水嶺を經て元山に到り此間百三十六哩なり、次に湖南線は太田より江景に到り群山と全州の約中間地點より折れて群山への支線となり他は井邑、長城、羅州を經て木浦に到り支線を併せ全線百七十四哩なりと

關釜連絡船遲着

昨三十一日午前釜山に入港すべかりし關釜連絡船遲着せし爲め三十一日夜市内に配達すべき郵便物は一日遲延し今一日夜配達するに至るべしと

●**湖南線工事竣成期**　韓國鐵道の工事は十一ヶ年後にあらざれば全部の竣成を見ざる筈なるが當局者の意嚮は最初に於て主力を湖南線に集注し極めて速成を旨とし橋梁其他何れも永久的の設備を爲さず五六年にて開通せしむる時は豫算の大部分を京元線に使用し得る故此の場合に於て全力を同線の全部に注ぎ以て京元線を完全のものとなし湖南線は一應開通の後除ろに完成を期する豫定なる故斯くは五六年内に開通を見る次第にして京元線は地勢上速成を爲し得ざる故なりと

●**韓銀貨幣發行週報**

一、銀行券總發行平均高(自五月二十二日至五月廿八日)　一三、一五二、五九一
　内正貨準備發行高　五、一五五、〇七一
　保證準備發行高　七、九九七、五二〇
二、銀行券平均手許有高　七六六、六二九
三、銀行券市場平均流通高　一二、三八五、九六二
四、硬貨發行額(五月二十八日現在)　六、三九四、一六〇
　内　金貨二十圓　一、八五〇、〇〇〇
　同　拾圓　五〇、〇〇〇
　同　五圓　五〇、〇〇〇
　銀貨五十錢　九三一、〇〇〇
　同　二十錢　一、四九五、五〇〇
　同　十錢　一、〇二八、〇〇〇
　白銅貨五錢　六三八、二五〇
　青銅貨一錢　二七〇、八九〇
　同　五厘　八〇、五二〇

●**仁川商會議員改選**　仁川商業會議所半數議員改選を來る廿日執行する豫定なるを以て一日より三日迄有權者名簿を同所に備附け一般の縱覽に供すべしと云ふ尤も退任議員は茂木、奧田、村谷(吉)宇治原、町田、奧田平山、市川、伊東、齊木、葛城の諸氏にして本年度の有權者總數は三級を通じて四百廿一人之を昨年に比較する時は卅四名を減少したりと

●**電車線路複線敷設**　日韓瓦斯電車會社にては南大門前より停車場前に至る道路狹隘なる部分を除き鍾路より南大門迄と東大門停車場より古市町迄と夫より岐れて將に敷設せられんとする龍山新市街の新線路は總て複線を敷設する由にて停車場前より既に工事に着手せり而して新線路敷設も來月早々起工せらるべしといふ

●**朴内部大臣の歸任**　平壤水道通式擧行の爲め同地へ出張中なりし朴總理大臣署理は三十一日午後[illegible]二十五分南大門着列車にて歸京し驛には趙農相高度相李學相中野[illegible]課長其の他多數の出迎へありたり

●**三島韓銀理事出張**　韓國銀行理事三島太郎氏は隨員と共に六月二日京城出發義州新義州の地に管内狀況視察の途に就くべ[illegible]

●**英國總領事の訪問**　英國總領事は統監更迭の通牒に接し三十一日午前統監府に石塚長官を訪[illegible]

●**新設警察署長赴任**　松井局長は新設警察署長三名に對し昨三十日赴任後の訓示を與へたり[illegible]

●**大韓協會總務歸京**　政況視察の爲め東上中の大韓協會總[illegible]東鎭、沈宜性の兩名は三十一日夜[illegible]

●**藤原課長の歸任**　金融狀況視察の爲め西韓地方へ出張中なりし藤原部銀行課長は三十日夜歸任したり

●**池永主計の出張**　池永二等主計は建築出張所視察の爲め卅日同地へ[illegible]

●**宗本主計の出張**　宗本一等主計は物貨調査の爲六月一日南韓地方へ[illegible]

●**仁川穀物相場**　仁川港に於る昨今の米況を聞くに天氣續きの氣配にて七米は十圓五十錢を唱へ此上旱天續かば依然として高相場を持續すべしと云ふ亦大豆は入津捗々しからず相場は昨今稍や軟弱の氣味に瑞大豆七圓六十錢見當なりと

韓人巡査の養成

韓國警察は韓人巡査を適當に訓練して忠良なる補助者となすに非ざれば其成果を收め得べからず故に[illegible]りしも何分創業の際經費と教育機[illegible]て夙に多大の注意を拂ひ苦心す[illegible]巡査の養成に就ては幹部並に地方[illegible]其設備の具備せざりし爲め從來各[illegible]於ては止むを得ず臨機試驗採用の[illegible]急缺員を補充し實務に就かしめた[illegible]が姿勢體式操練等の不熟練は言ふ[illegible]なし警察の基本觀念を注入し嚴正[illegible]律を振張保持する上に缺點多く且[illegible]職務執行上に於ても亦往々過誤あ[illegible]免れず巡檢時代よりの勤續者は[illegible]襲ひて貪汚の行爲を敢てする者あ[illegible]もすれば請託を容れ或は惰眠を貪[illegible]務を顧みず民衆に對する態度傲慢[illegible]れ可嘲を缺く等遺憾の點多かりし[illegible]年各道に些少の額なれども教習[illegible]付し各道に於ては不充分ながら[illegible]を開始し二箇月若くは三箇月の[illegible]を教養訓育し卒業の後各警察署[illegible]し實務に就かしむることゝして[illegible]

▲**治外法權**▲　[illegible]

[illegible]地方的土木事業を起す場合に於て所在人民より部役或は現品寄附等の良習慣ありて[illegible]の事業は之に待ちて竣され遂行せられたりしが此良[illegible]にして[illegible]利用[illegible]少くして道路其他公共[illegible]業を改善し得べく現に各道にては之に因りて幾多の道路工事を起し人民も亦喜んで之に應

●[illegible]

●龍山民團にては昨三十一日新任統監及び副統監に對し祝電を發し同時に前統監に宛て謝電を送りたりと云ふ

[illegible]十一日急遽東上の途に就きたり統監更迭と同時に幾名を政況視察に藉りて東上す其の用向や蓋し想像に難からず



名妓洗髪のれ妻（完）

▽中村小時とれ鯉の關係
▽れ鯉さんと市村の關係

横町へ〳〵と退り込んで了つた私が半生八幡の藪知らず、今おや出やうが無くなつたわけで、自然どれ話が後や前になりましたがね今一つ私が常に〳〵口惜しい〳〵と思つてゐますのは、私の前ちや人は云ひません蔭口ですが、市村に捨てられたと云はれる事なのですわ▲夫れをいふには例のれ鯉ちやんの話をせねば筋が通りませんから、まあ言はして下さいね、都新聞にも**中村小時**の身の上話の時に、少し出てゐましたが、れ鯉ちやんは其當時は何れかといふと、少し**水ち**やん臭かつた方なのですがね、矢島平藏といふ人が旦那でしたが、**濱町の相生**へれ花を引きにれ鯉ちやんが行つて例の中村小時と**出來**ちやつた、其時に矢島の旦那から三百圓といふれ金をれ鯉ちやんが貰つて其の儘右から左へ小時に借りられたのですが、旦那に言譯がなかつたのでせう處が甘い事には、丁度れ盆でしたものですから、旦那に**れ金**のことを聞かれて早速れ鯉ちやんは間に合はせにあのれ金は相生で、**一寸疊換**へのれ金に手詰まつたものですから私が**立て替**てやつたのですと其場は胡麻化した積りですが、相生程の待合が疊換へのれ金に詰るといふのが可笑いといふ事になり悉皆小時の事が露見に及んだので、新聞にもありました通り、釆女町の石定ね、あの高橋文吉といふ人が仲に這入つて**小時**さんとは**切れる**といふ事になり、巴家の女將さんが彌生の後へ隱居してゐた家へれ鯉ちやんが預けられたのでした▲此れがれ鯉ちやんと市村とが逢ふ抑もの縁でしたといふのは、當時市村は宮戸座に出てゐまして、始終巴家の隱居の宅へ出入してゐました、ある時の事、元巴家の女中をしてゐましたれ千代といふのが**大江卓**さんのれ**妾**になつてゐたのが遊びに來たものですから、女將さんに市村、れ千代、れ鯉ちやんと四人で小常盤へ御飯を喰べに行つたのが兩人の親しくなつた初め、其後れ鯉ちやんが**宮戸座**を見物に行つた時に、香羽屋の使歩きをしてゐた安さんといふが**戀のかけ橋**、文の便をしましたが、丁度其の夜の事大江さんの**奥樣が亡**くなられたので、巴家の女將さんが、**お通夜**に行つた**留守中**に市村とれ鯉ちやんが姿を消して芝浦へ**シケ込**んでしまつたといふ騒ぎに矢島が怒るやらゴタ〳〵の末、れ鯉ちやんは旦那とは切れて、再勤といふ事になり、越ねて卅二年の十一月二日に市村へ嫁く事になりましたが、市村と私と切れたは卅一年でしたわ。

伯爵と三人藝妓

▽六錢の氷代に困る
▽壽湯での永代催促

懐中に相談なしで飲食店などへ飛び込んで飛んだ赤耻を掻いた彌次郎兵衛さんの何十代かの後胤ともいふものが加かも三人迄面を揃へて僅かの金にギウ〳〵云はされたとは然りとは不心得の話しなりと獨りで承知して居ても譯が判らぬ大要器と摘んで記き立てんに時は廿九日の午後漢陽公園の開園式場より木の根岩角の嫌ひなく踏み破り字餘り縮緬の蹴出しを南山颪に吹き靡かせ異一文字に城壁下のトある氷屋目蒐けて乘り込んだる女武者と云ふは何をか匿さん當地**掬翠樓**にさる者ありと知られた江戸見藝妓の**江戸奴**及び**梅吉**の兩人にて据へたる床机に臀打ち掛け雪を一杯が所注文し夫れに水を强か打つかけ一名**コーカツ飲**を爲て居る所へ色情狂に追はれて戸惑つた形で轉げ込んだのが同樓の**靜子**妾にも一杯頂戴など白痴が施米を見付けた如に相格を崩して三人トグロを巻いて一生懸命温和にカリカリガブ〳〵食つて居た迄は天下は泰平城壁に迷ねた草の風に靡いて居るも君が代た〳〵樣にも見へて誠に以つてれ目出度かつた、其の内飲み了つた梅吉が大枚**六錢の勘定**をなさんものと懐の間に手を入れて試たが元來〳〵持つて居ない金が一錢だつて有らう筈なきに拔らぬ顔でオヤと一つ驚いて置いて江戸奴さん妾忘れて來たワ立替へて頂戴ならどれ程も[illegible]に江戸奴丈一寸帯の間へ手を入れたれど是も同斷**筋書通**りにオヤと一つ驚いて置て妾しや落したと見へるワ靜子さん立替へて置いて頂戴など云ふと靜子は半分計り殘つて居るコツプを床几の上に取り落しアラ妾し何うしようと**泣き出し**たるに他の二人此度は節礁にないのだから眞正に驚いて総つたが何うしようにも思案が浮ばず三人揃つて氷屋さん私妾は掬翠の**藝妓**ですと後から屹度屆けさせますからと**氏素性**から**身分**の程を打ち明けて賴んで悄然さして引き下らんとせる所へ通り掛つたるは是ぞ當町一丁目の伯爵の御前なり夫れと見たる靜子は按摩が杖を貰つた程に喜び十錢借りて漸く其の場を濟ませたるも濟まぬは伯爵の條件にて金は返濟に及ばぬ代り巳來壽湯にて見蒐け次第何遍でも催促するとの一事にて六月一日より實行の豫定なりと、靜子曰くアノ氷屋には女房が居たから恐いのよと叩ち居れりと云ふサア評判々々



女振り

竹内しげ子
竹内銳彥氏夫人

銳彥君は三井物產會社員で中部壽洞二十七戸のれ住居の表通りには稻垣なる軒燈が點いて居る、而して御實父の御商賣は醫藥だ、軒燈の稻垣は即ち其の姓であるとか、夫人は明治十二年のれ生れで產地は反魂丹と機織女とを出すを以て有名なる越中は富山だ、竹内君は熊本の產で八九年前結婚せられたのであるとか、元來其の越中富山に產れたしげ子夫人は越中越後加賀地方は美人系を有する頗る美人である、美人は由來多く其の美に恃む所が多い、夫れは才子が才を恃み勇者が其の勇を恃むと一班甚だしく咎むべきではあるまいが深く自ら愼み且つ戒むべきことであらふと思ふ、何となれば自分の美を識る人は他の美を聞くを好まぬ、好まぬ結果は嫉妬となり憤怒と變ずるからである、と云つたからとて決してしげ子夫人が猛烈なる嫉妬家であると申して居るのだと取られては困るが少々はれ燒になる、苟くも女と生れ他の妻になつたものが亭主の浮氣をするのが嬉しから筈はない嫉妬のが當然だ、雖然浮氣もしないのに爲はせまいかの豫防燒は却つて良人の浮氣心を挑發することになつて不利である、然るに夫人は其の不利を知りつゝ浮氣豫防用の生石炭酸を銳彥君の出入りに少しつゝ撒きかける但し瓶の栓が緩んで居た時は格別である、此の栓を確乎仕て置きになつたら一點申し分のない夫人である「ダッテ夫れでは心配ですもの」と仰云らるれば我れ又何をか云はんやである、れ子さんはれ四人とも流產。

●**此が眞正の藪蛇**　鹿兒島縣人當時仁川港松坂町三丁目士族前原長彥（三七）埼玉縣人當時住所不定青物乾物行商增田光五郎（三七）の二名共謀して銅塊に鍍し之を純金と稱し支那人及韓人を欺き金員を騙取したる廉にて仁川支部に於て懲役六箇月に處せられ控訴中立京城控訴院に於て審理中の處長彥は第一審に於て前科無き旨申立初犯として處罰せられしに前科付なる事發覺し檢事の意見に因れば、二箇年以上の懲役ならんと

●**賃金支拂説諭願**　埼玉縣人當時旭町一丁目土木請負業吉澤德太郎（三五）は二十九日漢陽公園開園式に韓人夫約四十余名使役し其賃金當日支拂の約なりしに支拂ざるのみならず吉澤の雇人某が毆打せしに付韓人夫李德三（四二）總代にて南部署へ説諭願出せしより取調たるに賃金は三十一日支拂ふ可き旨申聞せるも言語不通の爲めならんと申立るに付卅一日相違なく支拂ふ可き旨嚴重に戒諭し三十余名の韓人夫等を諭し解散せしめたりと

●**放蕩息子の詐欺**　南部薫陶坊洞朴煥奎は閔宮相に數万圓の債權を有する身分にて以前は可なりに生活し居りし者なるが同人の子供等が韓國の常習として遊んで暮すの主義にて其の財產も巳に蕩盡せしより種々惡策を考へ親の筆跡を裝ひ水票橋寮商金定河より金百圓を借出し其の儘逃走せしとて金定河は筆洞分遣所に詐欺取財の告訴を提起せりと

●**花嫁泥棒の處刑**　京畿道安城郡德谷面陽村洪國彬（二八）は本年五月二日同郡同面上坪里道路に於て陽城郡德山面書院村寡婦尹召史が忠淸北道鎭川郡柳貢穆方へ入嫁の爲め轎に乘りて同所を通過せるを村民の力を藉り之を奪取し同女を實兄洪任和方の温突に連れ來り姦通を爲したる廉にて京城地方裁判所に於て懲役二年に處せらる

●**人妻を賣り飛す**　西部積善坊月宮后洞趙昌成妻崔姓女北部養德坊契洞朴潤鍾外一名共謀して西部仁達坊南門洞李昌鳳の妻金王分（一五）を黄海道白川郡内朴某に五十二圓に賣飛したる事發覺し目下西部署に於て取調中

●**自轉車乘の拘留**　山口縣人當時龍山旭町山中百松は南大門通りに於て夜中燈を付けずして自轉車に乘り通行の際警官に認られ西部署より再三再四呼出を受け出頭せざるより三十日刑事に引致せられ拘留二日に處せらる

●**仁川雜事**　●仁川警察署管内に於ける耶蘇教會堂の所在總數は卅八箇所にして其内米國派最も多く英國派佛蘭西派救世派之れに次ぐと云ふ▲仁川寺町二丁目耶馬溪事岩波熊松は昨日午前一時頃抱酌婦兒玉は外二名をして客席にて放歌亂舞せしめし廉に依り其筋より大目玉を頂戴

●**旭川の松秀庵**　野々村藤助なる人今回旭町一丁目元熊谷民長宅の前家屋に松秀庵なる割烹店を開業する由にて三十一日知巳を招きて披露の宴を催せりと場所も好適なれば粋士の御贔負に繁昌を極むるなるべし

店員評判記（二）

山口呉服店店員　高味庭三

庭三君は鹿兒島縣薩摩郡隈ノ城村字向田の產で明治十四年の出生である店主山口君が鹿兒島縣人である所から同店に住込んだのが明治三十年の六七月の頃であつた、爾來十有四年の間忠勤を抽んでゝ居る、現今は保險係の主任で仲々の交際家で趣味も多方面だ、支配人の山下君は山口君の實弟で萬事を切り回して御座るが其の山下君の自慢の店員である、他の店員との折り合ひも頗る宜いと斷る丈けが無駄だ、何にしろ十四年間も一つ所に辛棒したと云ふことが既に夫れを立證して餘りあるではないか道口は少々派手な方であると見受る



▲木登り女郎の綽名を唄はれたる曙樓の花子は負傷全治退院後は猛烈に娼妓に出精し泥峴街の某呉服店の伴頭君を好さんとして牛乳代りの藥喰ひに朋輩女郎に羨まれて居る▲第一樓の右近はれ客の取扱ひに陰日向がある計りでなく二度目には無心を吹き掛ける爲め永續きする客は尠ないとか振られたらしい若いハイカラが贔屓して居る▲南山樓のすみ榮は面もよし客の取扱も親切で特に多少文學思想を有し爲めに趣味の合ふ文士を好さんにしたいが何處かにないものだらうかと口入屋を賴み回つて居る▲京城樓の月子は仲居に殘酷に取扱はれるのを殘念に思ひ好さんの南山町○野の食客井下さんとかに新聞への素破拔き方を依賴して居ると質のよくない噂を誰れやらがして居る

▲同樓の茶羅子は仲々の美人で取扱も親切なるのみならず「一輪咲いても花は花ですよ、後の文句は貴郎ですよ」とかなんとか云つてれ客を嬉しがらせて居る▲五月二十一日店出しとなりたる同樓の房子は和歌山縣生れ本年二十四歳なるが前借なしの自前稼ぎ何に不自由しての廓勤か精探を要する（廓雀）

目と耳

▲歌舞伎座　開場以來大景氣を以て打ち續けたる桃川若燕一行の六月一日演物は左の如しと云ふ　加藤淸正公（燕樂）曲藝數番（一九）新派琵琶二曲（源春子）前席横川勘平馳附けより吉良家討入まで後席は飯田將軍恩賜の氷砂糖（桃川若燕）▲浪花館　毎夜大入大喝采を博しつゝある若遊三一行六月一日の演物（一）兵庫渡海鰌の身入（若三郎）厄拂ひ（若朗）馬鹿の代參（圓三）野崎參り（笑三）子賞め（文喬）喜劇（座員總出）三府流行歌舞音曲ウント誠二道川（若遊三）大切所作事電氣應用▲京城座　從來不評判なりし同座も吉田氏引き受け後は萬事を改良し俳優座方一同とも大車輪にて二十五錢均一の大勉強なれば漸次評判を恢復しつゝありと云ふ何んにせよ芽出度し、而して六月一日の藝題は「當世華族氣質」全九場にして役割左の如し　藝者春吉（堀江）村田淸（桂木）令嬢竹子（金澤）家令山口（川さき）松田一郎（高しま）家令本田（中村）佐々木五郎（中澤）熊澤伯（浮田）書生木山（松村）五十嵐進（美さき）俠客梅の助（瀬川）子分八公（島村）巡査谷川（島岡）子分留公（松葉）

●**浪花館の大入日延**

▽强强の前に不景氣なし

明治町の浪花館は三遊亭若遊三一座にて既に數十日間打ち續け愈々昨日限り打ち揚げ仁川に乘込む筈なりしも連夜の大入且つは四方の希望もあり旁以て茲數日間日延を爲し相變らず大車輪に演ずると云ふ

滿韓巡業相撲番附

▽東京相撲界の精華

東京大相撲夏場所打上げ後の地方巡業は滿韓地方四百名、越後、越中、加賀、信濃は西の海、太刀山を大關として二百五十名、東北、北海道は高見山、有明を大關として百三十名と決したり、猶は滿韓巡業組は端明後東海道、中國、四國などを巡業する筈にて其の顔觸れは取締雷、友綱、年寄檢査役阿武松、待乳山、關の戸、花籠、行司木村庄之助、庄三郎、誠道、式守與太夫木村大藏、同吉之助などを合せりの數四百名の一行は花々しく近々當地へ乘込むべし番附は即ち左の如し

東の方
横綱　常陸山
大關　駒ヶ嶽
關脇　小常陸
小結　碇潟
前頭　兩國
同　大湊
同　大の川
同　龍ヶ崎
同　黒瀬川
同　近江富士
幕
同　紫雲龍
同　石山
同　八甲山
同　男島
同　駒勇

下

西の方
横綱　梅ヶ谷
大關　國見山
關脇　伊勢の濱
小結　玉椿
前頭　土州山
同　鳳
同　八島山
同　鏡川
同　梅の花
同　大蛇潟
同　佐賀の海
同　岩木山
同　雷ヶ浦
同　日本海
同　加勝山

今日の運勢

六月一日舊四月廿三日七赤●友引丁酉定△一白　新事及更改の事凶旅行入學門婚姻金屬の業には吉△二黒　家族家庭の事煩累あり誘獎に傾く勿れ△三碧　不通塞塞の日特異の取引賣買貸借控へ目にすべし色情の難を戒しむ△四綠　盗害横領防ぐべし●新事見合の事婚嫁共同連盟の事に吉△五黃　保證引受及家族從者の事煩累あり其他吉△六白　旅行轉移模様方針替整理改革轉業吉書信異事を報す△七赤　新事見合せの事談判依賴契約婚嫁聯結聯盟に尤も忌む△八白　長上のため出捐若くは煩累あり其他平凡△九紫　衰の日新事及更改の事凶旅行貸借相談見合すべし（本町五丁目三一　館判斷）

●**天氣豫報**（自卅一日午後六時　至一日午後六時）

南の風曇少雨

卅日（華氏）　最高溫度　八一、〇　最低溫度　五七、〇

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

懐中良薬



仁丹主効
▲暴飲宿酔 ▲舟車暈 ▲頭痛目眩 ▲氣の鬱 ▲胸腹痛 ▲口熱口臭 ▲歯の痛 ▲音聲美し ▲酒實味増 ▲悪疫豫防

消化と毒けし

快々として樂まぬ人
仁丹飲めば
心底より
愉快になる

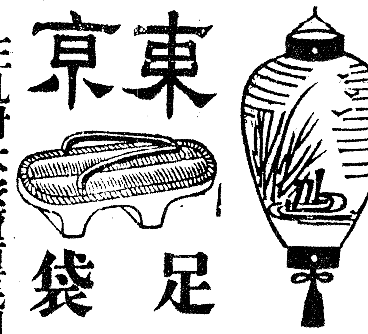
▼逆上さ
▼便秘と
▼體毒には

梅毒新薬



に限る

代理店 京城 新井薬房



六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋

本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勧商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

韓語大成

値上廣告

一部一圓八十錢
郵送料十五錢

從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正増補致候間前記の通り値上候也

京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

●朝鮮唯一の土産夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め

賜東宮殿下御買上之栄
清國領事館御買上品
韓國京城博覧會褒状受領ス

滋養強壮 人參飴

世界第一等の滋養品
牛乳鶏卵に優る効數倍
京城本町二丁目
元祖發賣元 井口順生堂藥房

本品は滋養剤として東洋第一とたせらるゝ朝鮮人蔘を以て精製しりる物にて朝鮮唯一の御土産品なり本品は殊に夏季の強壮剤として稱する適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川平壌、開城、龍山、鎮南浦、元山及各地有名藥店雑貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ

京城本町二丁目(電話一九九番)
井口大藥房
京城大原賣店
龜屋(本支)店
青木堂

明治廿年七月創立●
資本金一千萬圓●

東京海上運送火災保険株式會社

京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

天下無敵高等紙巻煙
美術寫眞入煙草



品質良好香味佳良
原料精撰價格低廉

製造元
大邱大石商會本店
發賣元
西大門驛前
大石商會出張所

韓國銀行

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所
仁川、平壌、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、

爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
清國 義州、大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目
電話百拾番

本店開業拾五ヶ年祝

弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて

「タバン」懐中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方様へも直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白

瑞西タバン懐中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目(電話一〇一五番)
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三一八番)
右特約店 金化堂時計舗
京城本町四丁目角
右特約店 中村時計店
各地方より御注文は發送實費申受候

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一一三番 四九二番

日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(一圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

諸官衙御用品調達

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山 福田合資會社食鹽特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 十番地電新橋三六九二

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓

株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國本日其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二毛)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信
入院隨意

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、岡山、
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壌、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尚州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

金錢貸借電話譲渡
土地家屋老舗賣買
人事百般其他
周旋業
京城明治町一丁目勧商場前(電話一一九八)
明治屋

特約販賣自製

味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目

大上商店

支那白菜漬
朝鮮菜葉漬 大賣出し

(電話二五一番)

印章彫刻
ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舗
諸官衙御用達
電話九三番
奥野岩太郎



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

奥出洋服店

京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)